

中期事業計画の評価

平成21年度～平成23年度

1 地域の動向及び信用保証協会の実績

三重県信用保証協会は、公的な「保証機関」として、中小企業者の資金調達の円滑を図り、中小企業者の健全な育成と地域経済の発展のため尽力してきました。

平成21年度から23年度までの3ヶ年の実績についての評価は以下のとおりです。

(1) 地域経済及び中小企業の動向

県内中小企業を取り巻く環境は、平成23年3月の東日本大震災や海外の景気低迷、円高等から経営状況の悪化が予想される状況でありました。また、平成23年8月に紀州地域を襲った台風12号の影響もありましたが、そのような中、平成23年度の県内経済情勢は、県内の鉱工業生産指数（平成24年2月現在）は3か月連続で上昇し、自動車登録台数は4か月連続で増加しました。しかしながら生産活動は横ばい、大型小売店販売額、新設住宅着工戸数はともに減少しており、県内経済が好転するには今しばらく時間を要するものと予想されます。

(2) 中小企業向け融資及び保証の動向

平成23年3月にて景気対応緊急保証が終了となり、その後の中小企業の資金繰りに影響が出ないか懸念されましたが、セーフティネット保証5号の拡大業種認定の延長や中小企業金融円滑化法の趣旨を踏まえた返済緩和の条件変更など中小企業の資金繰り支援に注力しました。

当協会の平成23年度の保証承諾額は1,738億円（内、セーフティネット保証443億円（緊急保証を含む））で、平成24年3月末の保証債務残高は、4,786億円（内、セーフティネット保証2,388億円）となりました。また、平成23年度に承諾した返済緩和の条件変更承諾額は6,173件 898億円（対前年比108.2%）となりました。

(3) 三重県内中小企業の資金繰り状況、設備投資動向

平成24年2月の三重県景況調査によると、今期（平成24年1月～3月）の資金繰りDI（好転する企業の割合から悪化する企業の割合を差し引いた値）はマイナス18.6ポイントとなり、これは前期と比べると1.5ポイント悪化、前年同期と比べると3.1ポイントの悪化となります。

設備投資動向については、今期（平成24年1月～3月）の設備投資意欲DIはマイナス14.8ポイントとなりました。これは、前期に比べると3.8ポイント悪化、前年同期と比べると7.8ポイント改善となります。ただし、設備投資を実施しない企業は今期49.8%、来期（平成24年4月～6月）46.6%といずれも約半数となっており、設備投資意欲は依然として弱いものとなっています。

(4) 三重県内の雇用情勢

県内有効求人倍率は、平成23年4月の0.70倍から平成24年3月では0.89倍と緩やかに持ち直しつつあり、9か月連続で前月を上回っている一方、42か月連続で1倍を割り込むなど、改善の動きはあるが、依然として厳しい状況が続いています。しかしながら、有効求人倍率0.89倍はリーマンショック発生直後の平成20年12月と同水準まで回復し、本格的な回復基調が期待されます。

2. 中期業務運営方針についての評価

平成21年度から23年度までの3カ年の業務運営方針についての実施評価は以下のとおりです。

(1) 保証推進の拡大

リーマンショックに端を発した海外景気の低迷や円高に対応するため、平成20年10月31日から実施された原材料価格高騰対応等緊急保証（全国緊急保証）制度を積極的に推進し、平成22年度の制度終了時までに累計で17,015件、389,389百万の保証承諾をして、中小企業者への資金供給に注力しました。また、その後においては、東日本大震災や平成23年台風12号に呼応する制度政策にも積極的に対応し、県内中小企業者の倒産防止に努めました。

その結果、平成20年度末において30.2%であった企業浸透率は期間半ばには30.6%にまで改善されましたが、その後は金融の低金利が続くなかで、保証料負担が重いこともあり、減少傾向に歯止めがかからず、平成23年度末においては29.3%まで低下しました。

平成23年6月に創業・企業支援課を立ち上げ、創業準備段階の相談から創業後のフォローまでを専任担当者が一貫して行うことにより、創業を目指す方に対し親身な対応を行いました。

対外的には、三重県や四日市市、三重大学、県内関係機関と連携し、三重県主催の「企業道場」と「ビジネスプランコンテストみえ」に参画して審査員も努めました。また、当協会が四日市商工会議所等と連携し、「四日市志創業応援隊」の立ち上げに深く関与しました。

(2) 適正保証の推進

共同システムを活用した定量分析による審査基準づくりにより、迅速な審査体制を進めました。また、効率化が図られたことで、経営者の事業に対する継続意欲や改善意欲の他、その企業の持つ技術力・販売力などの定性要因からも判断すべく、積極的に実地調査を行いました。

平成22年度からは本店、支店合同で保証事例研究会を定例（繁忙期以外の月1回）で行い、審査能力の向上に継続して努めています。

(3) 利便性の向上

各地域の商工団体と連携し相談会を積極的に開催した他、年末や年度末の資金繰り相談にこたえるため、平日の相談窓口の開設時間を延長するとともに、土日祝日も相談窓口を開設しました。

平成21年6月には、県内経済活性化を目的とし「元気がミエる産業展'09」を金融機関や商工関係団体などの協力のもと、2日間にわたり開催し、300を超える企業の出展を得て、延べ1万8千人以上の来場がありました。

また、平成22年度と平成23年度には、弁護士や公認会計士の協力のもと「事業承継セミナー」を計4回開催し、同時に個別相談会も行いました。

(4) 期中管理の改善

平成21年6月には期中管理室(課)を創設し、従来の受け身の期中管理体制から、能動的な期中管理へと転換を図るため、保証先企業へ積極的に企業訪問(3ヶ年にてのべ365企業)を行いながら、経営状況等を把握し事業継続に向けた相談等に応じました。また、企業情報の早期取得と事務改善により、代位弁済スケジュールの短縮を実施することで、代位弁済利息の削減につなげました。

事業の継続、改善に意欲がある企業に対して、三重県中小企業再生支援協議会との連携や、平成22年7月には協会と金融機関が独自で取り組む再生支援連絡会議(通称:ミニ再生)を立ち上げ、中小企業者の事業再生支援に取り組みました。平成23年6月には再生支援グループを創設し、より専門的に取り組みました。

また、中小企業金融円滑化法の趣旨をふまえ、返済緩和の条件変更に対応した結果、平成23年度には6,173件、898億円の条件変更承諾となりました。それにより、代位弁済は計画を大きく下回る水準で推移しましたが、700億円を超える返済緩和をしている保証債務残高への対応が今後の最優先課題となっております。

(5) 回収強化

サービサー機能を有効に活用すべく、サービサーへの委託基準の見直しを行い、平成23年4月から代位弁済後即座に委託を可能としました。また、期中管理部門との連携を強化し、代位弁済日を前倒しすることで、早期回収着手に努めました。

交渉が困難な顧客に対しては、協会職員弁護士や顧問弁護士を積極的に活用し求償権の早期解決に努めており、管理事務停止、求償権整理手続を積極的に行うことで、回収強化と合わせて事務の効率化を図りました。

(6) その他

協会内部講師による階層別研修の充実や、全国信用保証協会連合会が実施する協会資格検定(信用調査検定プログラム)の受験を促すことで専門的な能力の向上に取り組みました(3ヶ年にてのべ20名合格)。

2. 中期業務運営方針についての評価

外部評価委員会の意見等

平成20年秋のリーマンショック後の景気回復が期待された3年間でしたが、東日本大震災、欧州危機、円高、また、三重県内では台風被害と中小企業にとっては厳しい経営環境の中がありました。

緊急経済対策による景気対応緊急保証、セーフティネット貸付の延長、また、中小企業金融円滑化法による貸付条件の変更などの中小企業向けの施策が実施され、資金繰りの改善、倒産の回避など中小企業の経営の維持・改善の使命を果たしてきました。三重県信用保証協会は国の中小企業施策の一翼を担い、中小企業の体質改善に寄与し、全体の業務としては事業計画をほぼ達成しています。

また、今までの殻を破り、新しい事業にチャレンジしてきた3年間で、設立60周年事業として開催した「元気がミエる産業展」、円滑な事業運営を進めるために金融機関との運営協議委員会、信用保証協会と金融機関が独自に取り組んでいる再生支援連絡会議（通称：ミニ再生）、創業・海外進出・新分野進出・事業承継への支援、信用保証協会内部の人材育成、組織変更など、前向きな事業推進が見られ、この点については評価ができます。

3 . 事業実績

三重県信用保証協会

(単位：百万円、%)

年 度 項 目	2 1 年度実績			2 2 年度実績			2 3 年度実績		
	金 額	対計画比	対前年度比	金 額	対計画比	対前年度比	金 額	対計画比	対前年度比
保 証 承 諾	250,780	84.8%	79.2%	217,236	120.5%	86.6%	173,751	98.1%	80.0%
保 証 債 務 残 高	511,304	102.6%	103.1%	494,856	102.8%	96.8%	478,578	102.5%	96.7%
代 位 弁 済	12,317	76.3%	84.2%	11,630	71.5%	94.4%	10,067	69.4%	86.6%
実 際 回 収	2,837	78.7%	93.4%	3,469	113.9%	122.3%	3,124	103.8%	90.1%